



一隅を照らそう
6月号

341号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



折りふしのはな

どこか はずかしそうに
葉の陰に
見えかくれしている

日頃、生活していく上で立ち返るべき原点は、いわば生きてい
く上でのアイデンティティーです。

ロシアによるウクライナ侵略が、世界を巻き込み泥沼化し、出
口が見えません。プーチン大統領の独善的な理由は、到底納得が
いく筈もなく、侵略によつて多数の人命と、破壊された建物は甚
大で、とてもなく悲しく虚しい思いです。

日本において遠い国の出来事のようですが、このことはボディー
ブローのように、ジワジワと世の中の空気が汚染される気がしま
す。人間の愚かさや欲が、こんな形で表面化してしまふと”どう
して？”と単純な疑問が生じるのです。

『法華經』には、「我れ此の衆生を見れば、苦海に没在せり」
とあり、続いて「かるが故に、身を現ぜずして、それをして渴仰
を生ぜしむ」と説かれます。さらに「我が此の土は安穩にして、
天人常充满せり」と示され、「苦」に悩まされるのも、「苦」を乗
り越える生き方も、我が心次第であることが説かれているのです。

経典から

住職 中島 有淳

乳白色の小ぶりな花は
清楚で
愛らしい

はにかみやさん
少女のよう

(遊)



月例行事案内

◎八 日 午後二時
薬師如来祈祷会 観音經読誦

◎十一日 午後二時
智泉院法要日 (於・日本橋茅場町)

◎十八日 午後二時
観音經讀誦法要 (於・神木觀音堂)

◎二十八日 午後二時
不動明王護摩供修行

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしています
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

六月十八日(土)

(一) 「止觀(坐禪)会」 九時三十分～十時三十分(五百円)

*初心者歓迎

(二) 「法華經を読む会」 十一時～十二時(三百円)

(一)(二)とも事前予約制です

*二年かけて読誦してます。

あとがき

○バイデン米大統領が来日(5/22)。二極化していく世界情勢について
対応を確認か。機に乗じた日本の防衛力の拡大が心配です。

○沖縄本土復帰五十年(5/15)。朝ドラでも、その頃の物語が放映され
て、毎朝楽しく見てています。沖縄文化がより親しまれ、大切にさ
れることでしょう。

○六月四日は伝教大師(最澄)のご命日。この日は「六四(むし)
の日」でもあり、某消毒会社が何十年もこの日「虫供養」に来山。
みんな繋がっている”いのち”に感謝したり、供養したり。

○毎年の不動尊ご巡行は、コロナ禍で人との接触が憚られる期
間も永くなり、継続に不便が。そんなご苦労のなか今月も「せめ
てご尊像だけでも」と預かつて戴けました。御礼申し上げます。
永いご交誼に感謝です。

○『東急線花ご朱印巡り』が四月二十九日から十月末日までの期
間開始。沿線の四十八社寺が参加。當山も仲間入り。

○大相撲五月場所は、終わってみれば横綱照の富士の七回目の優
勝。後につづく力士が足踏み状態で、誰が抜けだすか。

○水田のその水面に遠くの山や青い空、それに白い雲が映つてい
る風景は、趣があり大好きです。それは日本の風景で”五穀豊
穫”への祈りです。